

若手技術者発表会 YP 大賞 2013
若手交流会 AJCE 夜会

AJCE 技術研修委員会 Young Professional 分科会

(公社)日本コンサルティング・エンジニア協会 (AJCE) の技術研修委員会若手技術者 (Young Professional : YP) 分科会では、若手コンサルティングエンジニア(CE)の育成や国内外のネットワーク作り、学生向け啓蒙活動などを行っています。

この活動の一環として、会社や団体における若手発案かつ若手主体の活動を発表する場として、『若手技術者発表会 YP 大賞 2013』を開催しました。昨年 2012 年に第 1 回 YP 大賞を開催し、好評を頂き、本年第 2 回を開催することとなりました。

また、YP 大賞終了後は恒例の若手技術者交流会『AJCE 夜会』を開催し、YP 大賞に参加できなかった YP の方々にもネットワークを広げて頂く場を提供しました。

若手技術者発表会 YP 大賞 2013

日時：平成 25 年 8 月 29 日 (木) 14:30 ~ 18:00

会場：(株)日水コン 本社 22 階会議室

参加人数：49 名



■若手技術者交流会 AJCE 夜会

日時：平成 24 年 8 月 29 日 (木) 18:30 ~ 21:00

会場：ホテルローズガーデン新宿

参加人数：35 名



若手技術者発表会 YP 大賞 2013

発表会には以下の 6 チームがエントリーしてくれました。誌面の都合上、極々に簡単に報告します。

1. “世界で活躍する若手”を目指す 「海外事業若手研究会」の取組み：(株)日水コン

「若手の 5 割が海外で仕事をしたいが、7 割が海外の仕事を知らない。」を改善すべく、活動を開始して 1 年。「海外事業を知るセミナー」をはじめ、活動は多岐にわたる。特に錫蘭¹⁾ペラデニヤ大との共同 Web セッションは生の英語に触れる良い機会。研究会のパワーを感じる非常にすばらしい試みである。

2. 低炭素社会の実現を目指した社会貢献モデルを若手コンサルタントが「本気」で考える!!：国土総合研究機構 低炭素社会マネジメント技術研究会

工営・建技・パシの若手が低炭素社会(LCS)²⁾実現のために立ち上がった!その第一の矢は、「小中高校生向けパンフ」建設コンサルタントとは何か?義務教育世代へ放つ!AJCE では大学生に放っているが、義務教育とはあつぱれ。無意識下への根付きこそ本物!さて、第二の矢=低炭素社会貢献モデルやかに。ぜひ継続を。

3. サークル：(株)オリエンタルコンサルタンツ

3つの でサークル。好きな 橋を学んで、人と³⁾結ばれた、門田さん。設立から 1 年、とくかく橋を“楽”しむ。設立の三箇条は、楽しむ、磨く、結ばれる、が最高。技術顧問のデザイン塾、是非参加してみたい。土木屋の筆者にどんなセンスがあるのやら…。活動の“波”が仕事を“楽”にする。こんな素晴らしいことはない。

4. サッカー交流 YP カップ ~きっかけは夜会~：YP JAPAN

私は好きである!!! 何と言っても潔い。さらにストーリー展開の妙。まさにコンサルである。YP 大賞、ここにあり!この活動ほど、ネットワーク形成の強化に“フォーカス”しまくった活動はない。この活

1) さて何と読む?

2) 何の略?

3) さて何の K?

動は絶対に途絶えさせてはならない。この活動に関わる全ての皆様。継続に尽力頂きたい。切に願う。

しかし・・・、惜しむらくは、発表の音が小さかった(;;)。残念でならない。ザツケ⁴⁾でももっとでかい。

5. 見沼たんぼ：見沼たんぼコンサルタントチーム
農業好きのコンサルタントが「コメ作りを本域でやる」活動。広がりや緩やかに現在9名。

年間スケジュールは、5月：クロツケ⁵⁾、6月：耕転・大掻き・田植え 7～8月：田の草取り 9月：稲刈り・はざ架け 10月：脱穀・もみすり・収穫祭 12月：餅つき。田んぼは大きな水の涵養場。水質改善&人間改善モデル、水と人のネットワーク保全やこれいかに。

6. 朝活で業界紹介 ～異業種とのつながり～：Leamy Birds / 日本工営(株)

朝活！ここにもすごい産業振興の場が存在した。振興の相手は住民すべて。「無知に教える技術」の修業の場としては破格。ノンオイルダイエットは下水道にもやさしい！スカイツリーと五重塔は共通の耐震技術？ その名は「心柱⁶⁾！」などなど。朝からこれを聞いた人は、さぞ誰かに言いたいモードで出社したことでしょう。すばらしい。ぜひ継続を

以上の発表について、5つの審査基準(活動の趣旨、自主性、継続性、効果、プレゼン能力)でAJCE副会長3名が厳粛な審査を行い、YP大賞、YP準大賞×2の3チームが選出されました。第2回の大賞は、『サークル』(株)オリエンタルコンサルタンツが受賞しました。おめでとうございます。



YP 大賞

サークル：(株)オリエンタルコンサルタンツ

4) 彼のフルネームと年齢は？

5) クロツケ？ ツチガエル登場

6) なんと読む？



YP 準大賞

“世界で活躍する若手”を目指す
「海外事業若手研究会」の取組み：(株)日水コン



YP 準大賞

低炭素社会の実現を目指した社会貢献モデルを若手コンサルタントが「本気」で考える!!：国土総合研究機構 低炭素社会マネジメント技術研究会

今回の発表は、色々内容が富んでおり、今回の審査基準では、中々評価が難しいと審査員から意見がありました。その意味で、基準が違えば、他のチームが受賞したかもしれません。それほど素晴らしい活動ばかりでした。

若手技術者交流会 AJCE 夜会

AJCE 夜会は今年で4回目。今年もAJCE 会員企業の20代～30代の若手40名以上に参加いただきました。参加者の専門は、橋梁・道路・交通・鉄道・電力・上下水道・河川・環境・防災・生態学・衛生管理・農業経営と多岐に渡りました。

夜会参加者からは、毎回「日頃、同業他社との交流

は少なく、今回の交流会では各社の特徴や互いの専門分野などについて情報交換ができ、非常に有意義だったとの感想が聞かれ、この交流会の趣旨のひとつである「若手技術者間のネットワークづくり」につながる活動になっています。



若手意識調査

YP 大賞と夜会では毎回アンケート形式による若手 CE の意識調査も実施しています。今回の回答数は 37 人（男性：31 人、女性 6 人、回答者の平均年齢 29.2 歳 各問い複数回答）

AJCE を知っているかの問いに、「16 人が全く知らない」と回答。43%であり、まだまだ AJCE の知名度を上げる努力が必要です。

なぜ、CE の職業を選んだかの問いに、「CE の仕事に興味があった 29 人」「海外勤務が出来る 8 人」。CE 業界の改善点については、半数以上が「一般的な認知度が低い 23 人」と「残業が多い 23 人」と回答。過去 3 回と同様の傾向でした。

若手 CE の育成に関する問いでは、若手 CE 育成に寄与している要因として「上司・先輩の指導 13 人」に続き、「自分で勉強・努力 9 人」と「業務を経験する中で自然と技術が身についた 9 人」が同数の回答でした。やはり「上司・先輩の指導」は若手の成長に大きく影響すると考えられる結果となりました。また、「社内教育システム」を挙げたのは 2 人と、前回同様少ない結果となりました。

前回の夜会から芽生えたフットサルの輪が大きく花開いた今発表会。YP JAPAN の活動の広がりや、コンサルティング・エンジニア業界を明るくしてくれる火種であれと願います。

最後に、昨年に引き続き、盛大に幕を閉じた第 2 回 YP 大賞ですが、色々な試みを行えた大会でした。

アンケートには今後の YP 活動への要望を募り、発表会、夜会、スポーツ大会、若手向けセミナー、専門分野の勉強会など、どの項目についても 10 人以上の要望を得ました。これまで以上に YP 活動の充実を望む声として捉え、YP 分科会メンバー丸となって取り組んでいきたい、と言いたいところですが、あまり張り切り過ぎず、皆さんと同じ目線で、自分たちも楽しみながら、とにかく継続していくことを念頭に YP 活動を実施していきたいと考えています。

また、今回参加頂いた方、次回も参加したいと感じた方、是非ご参加ください。その時は是非新しい YP をお連れ下さい。そのお一人が YP ネットワークを広げます。

皆さんで大きな樹に成長させていきましょう。

それでは、また次回の活動でお会いしましょう。

解答：1)スリランカ、2)Low-Carbon Society：CO₂ や CH₄ 等の温暖化ガスを極力出さない経済社会像、3)knot：結びつける・きずな・人脈、4)アルベルト・ザッケローニ・1953・4・1 生 60 歳、5)鋤（すき）を使って畔を泥で塗り固め漏水防止、6)しんばしら（ちょっと情報：<http://www.sumikawa-art.com/news/sky-tree-11-17.html>）